



み春野自治会たより

令和5年度 第04号

令和5年8月20日
み自発第23-40号

こよみの上でははや「立秋」ですが、まだまだ暑い日が続いています。夏休みラジオ体操も始まり、いよいよ今週末（8/26）は4年ぶりの「み春野ふるさと夏祭り」です。

み春野の夏祭りはこれまで、準備段階から当日の運営・翌日の後片付けまで、班長・副班長さんと会員皆様のご協力のもと手づくりで行ってきています。今年もみんな一緒に楽しく過ごしましょう！

- 13:30～ インドアゲーム大会（輪投げ・モルック）：老若男女問わず誰でも参加できます
- 15:30～ 子ども神輿巡行開始：近隣自治会から譲り受けた子ども神輿、初登場です
- 17:00～ パフォーマンスステージ：子ども達等の元気な姿をご覧ください
- 19:00～ 花火大会：保安距離等の見直しあり規模変更あるも150発超を打上げ
- 20:00～ 福引き大抽選会：今年は賞品を大幅見直し、ご期待ください

※夏祭り進行及び会場レイアウトは配布のプログラムで確認ください。「福引き抽選券」が添付されていますので、当日まで大切に保管ください。また第20回記念のうちわも一緒に配布しています。

さらにこの秋は、イベント満載です。

- 9月18日（祝）敬老の集い：4年ぶりに会食を伴う企画。対象の皆さんには民生委員さんよりお声がけします。
- 10月8日（日）横戸地区町民体育祭：午前中のみ、町内対抗なし、全競技個人参加
- 10月22日（日）花見川区民まつり（詳細は9月号でご案内）
- 11月3日（祝）み春野公園丸ごと秋フェスタ（詳細は9月号でご案内）

【各部からのお知らせ】

1. 防犯部より

《み春野公園の安全安心について》

8月2日 5:30頃、み春野公園の東屋で再び火災が発見され、警察、消防へ通報する事態が発生しました。東屋のテールの上で公園内設置の看板やのぼり旗が燃やされ、屋根の上には焦げた看板が放置されておりました。当日は警察官、消防官による現場検証が実施され、自治会からは警察署の要請によりみ春野公園東側入口付近に設置された防犯カメラ映像を提出しました。

現場検証時に公園緑地事務所担当者へは公園使用者の見守りとして、公園内に防犯カメラの設置を要望しましたが、千葉市としてはそのような施策が実施されていないため対応が困難である旨の回答がありました。（*千葉市の施策は、公園内のリニューアル等に当たりトイレ改修・遊具更新・倒木の危険性の高い樹木の伐採を推進しており、防犯カメラの設置は事業化されておられません。）他の自治体では公園への防犯カメラ設置を進めているところもあります。今後自治会としては、市へ防犯カメラ設置要望書を提出するなど、み春野公園の安全安心を推進してまいります。

自治会員に皆様におかれましては、不審者・不審な行動を見つけた方は迷わず警察署へ通報をお願いいたします。

2. 防災部より

《 災害対策の出発点となった関東大震災を振り返る 》

今年は、1923年(大正12年)に発生した「関東大震災」から100年の節目の年に当たります。「関東大震災」は、相模トラフを震源とする海溝型地震であり、震源は人口が集中する首都圏近傍であったことから、強震によって20万棟を超える家屋を全半潰させるとともに、津波、土砂崩れ、大規模な延焼火災、広範囲に及ぶ液状化など多岐にわたる被害を発生させました。

また、その後に発生した「阪神・淡路大震災」及び「東日本大震災」と比べても人的・物的被害が甚大であり、当時の社会経済活動に与えた影響も極めて大きいものでした。

一方、「関東大震災」では、知り合った被災者や避難者を収容するために寺社境内や邸宅が開放されたほか、食糧を分け与えるとともに、炊き出しや町内会などにより警備が実施されるなど、住民同士の助け合いによる救援救護の取り組みが、大きな役割を果たしました。

「関東大震災」を契機に建築物の耐震規定が設けられ、現在の「建築基準法」に受け継がれ、70年余り経た「阪神・淡路大震災」では、住民同士の助け合いやボランティア活動が再認識されました。さらに、東日本大震災後には、指定避難所が法定化されたほか、避難行動要支援者に関する規定が設けられ、男女共同参画の視点を含む避難所の開設・運営に関する指針等も制定されました。

これまで「想定外」という言葉が使われてきましたが、過去数百年の地震・津波を再現することを基本とする従来の被害想定の内方に再検討が求められ、首都直下地震等に関する被害想定の見直し等も進められ、現在では、想定以上の災害が発生する可能性を常に念頭に置きながら災害に備え、対応することが求められるようになりました。

この機会に、①過去の災害における住民同士の助け合いの精神や我が国における災害対策の歩みを振り返り学ぶこと、②将来の大規模災害を見据え減災の観点から自助・共助に臨むこと、③先人の尊い犠牲や取り組みを将来に引き継ぐことは、大規模災害のリスクに直面する現代の我々にとっても有意義なのではないでしょうか。

	関東大震災	阪神・淡路大震災	東日本大震災
発 生 年 月 日	1923.09.01	1995.01.17	2011.03.11
地 震 規 模	M7.9	M7.3	Mw9.0
直 接 死・行 方 不 明	約10万5千人 うち焼死 約9割	約5,500人 うち窒息・圧死 約7割	約1万8千人 うち溺死 約9割
災 害 関 連 死	—	約900人	約3,800人
全 壊・全 焼 住 家	約29万棟	約11万棟	約12万棟
経 済 被 害	約55億円	約9兆6千億円	約16兆9千億円
当 時 の G D P	約149億円	約522兆円	約497兆円
G D P 比	約37%	約2%	約3%
当 時 の 国 家 予 算	約14億円	約73兆円	約92兆円

※比較表は、内閣府公表資料を引用、一部を編集

3. 環境衛生部より

《 ごみステーション周辺にたばこの吸い殻！ 》



ごみステーション付近でたばこの吸い殻(ポイ捨て)が散見されます。その吸い殻が万が一可燃物に引火して火災になってしまった場合は一大事です。み春野に住まわれている方はそのような行為はしないと思いますが、**散歩や通勤中に不用意にポイ捨てをしてしまうケースもあるかもしれませんので注意願います。**

現行犯もしくは、繰り返し行われていることが判明すれば、逮捕されたケースもあるようです。

同じ場所で繰り返しポイ捨てされている場合は、警察に相談が必要かと思われます。

【以上】